

トヨタ、新コンパクトMPV「カローラ スパシオ」を発売

— 多機能で楽しさあふれる“私の部屋”をテーマに開発 —

トヨタ自動車(株)は、新コンパクトMPV*¹「カローラ スパシオ*²」を本日より全国のトヨタカローラ店を通じて一斉に発売した。

“新しい空間”をイメージし名付けたスパシオは、「Multifunction & Joyful Cabin」つまり多機能で楽しさあふれる“私の部屋”をテーマに開発された新コンパクトMPVである。

新型車は、個性的なコンパクトボデーに多彩な使い方を可能にした3列シートをはじめ様々な機能的装備を組み合わせることにより、デイリーユースからレジャーユースまで多様なライフシーンにフィットする室内空間を創造するとともに、爽快な走りと高い安全性を高次元で融合した新ジャンルのクルマである。

【主な特長】

1. 3列シートまたは2列シートの多彩なフォーメーションや工夫されたインテリアが創る楽しい多機能空間
 - ・回転対座やジュニアシートの組み込みそして取り外しも可能という、各シートの機能を生かした自由な「私の部屋」創り
 - ・開放感のある空間に多機能なデジタルメーターなど充実した装備を配したインテリア
2. 最新技術を結集したクラス世界トップレベルの高い安全性
 - ・衝突安全ボデーGOA*³や将来の米国の頭部衝撃緩和基準レベルの性能を追求したソフトアッパーインテリアの採用や、日本初のプリテンショナー&フォースリミッター付シートベルトをはじめABS、デュアルSRS*⁴エアバッグ、タイヤ空気圧警報システムを全車に標準装備
3. 3列シート・6人乗りを可能にした「トール&コンパクト」の個性的造形
 - ・余裕の室内高と優れた取り廻し性を両立したユニークな外形デザイン
4. セダンに匹敵する爽快な走行性能と低燃費の実現
 - ・扱いやすさと軽やかさを追求した1.6ℓツインカムエンジンの採用やカローラ系シャシーのファインチューニングによる爽快な走行性能とクラストップレベルの低燃費の実現

* 1 MPV : Multi-Purpose Vehicle (多目的乗用車)

* 2 スパシオ (SPAC i O) : イタリア語のSPAZIO (空間) を語源とした造語

* 3 GOA : Global Outstanding Assessment (世界トップレベルの安全性評価)

* 4 SRS : Supplemental Restraint System (乗員保護補助装置)



カローラ スパシオ (3列シート車・6人乗り)
[E-AE111N-FPPEK]

【車両概要】

1. 3列シートまたは2列シートの多彩なフォーメーションや

工夫されたインテリアが創る楽しい多機能空間

(1) インテリア

- ・見晴らしがよく明るいプライベートルームをイメージし、後列のヒップポイントを少し高めたシート設計や、1,310mm（3列シート車）の室内高が生み出す余裕のヘッドクリアランス、そして大型ガラスの採用により、全座席からの良好な視界を確保。

(2) シートフォーメーション

- ・フロントシートのヒップポイントをセダンより少し高めの約600mm（地上高）とし、よりスムーズな乗降を可能にしたほか、リヤドア部へのステップの設定やセカンドシートを右側にオフセットレイアウトし、リヤシートへの乗降性にも配慮。
- ・フロントシートには、助手席に回転対座機構を設定。（シフトレバーPレンジ時のみ可能）
- ・セカンドシートは子供の着座を念頭に、シートクッションが左右独立に約100mmリフトアップできジュニア（約4～7才）シートに切替え可能であり、シートバックを倒すことでテーブルとしても使用可能。
- ・またセカンドシートをたたみ込むもしくは取り外すことで、リヤシートの乗員にラージクラス車の後席をも上回るゆとりのスペースを提供。
- ・リヤシートは、前後最大300mmのスライドを可能としたほか、シートバックを倒すことでフロントシートとあわせてフルフラット化も実現。（セカンドシート取り外し時）
- ・セカンドシートおよびリヤシートをたたみ込むことで、大ラゲージスペースを確保。
- ・3列シート車（6人乗り）のほか、セカンドシートがなくリヤシートのフットレストとしても使用できるフロアボックスをフロントシート後方に装備した2列シート車（4人乗り）も設定。

(3) インストルメントパネル

- ・出窓感覚のワイドなインストルメントパネルの視認性・操作性に優れたポジションに、デジタルメーターとA Vステーションの2つの情報センターを配置。
- ・デジタルメーターは、視認性が良いスピードメーターをはじめ、少燃料時に自動拡大表示する燃料計、低温または高温時のみ警告表示する水温灯、平均車速表示や燃料給油後自動リセット可能なトリップメーター機能をもつマルチインフォメーション、そしてアラーム機能付デジタル時計をコンパクトなメータークラスター内に装備。
- ・A V機能とGPSボイスナビゲーションシステムを一体化し、TV・VICS受信機器も接続可能な5.8型ワイドマルチA VステーションⅡをオプション設定。（リヤクォーターウインドウにプリント式TVアンテナを設定）

(4) 快適・機能装備

- ・ドアガラスにUVカットガラスを、クォーターウインドウとバックドアウインドウにグリーンのプライバシーガラスを採用することにより、熱線をカットしエアコン機能の向上に寄与するとともに、紫外線を大幅にカット。
- ・運転席シート下に、靴などの収納が可能な大型トレイを設定したほか、パーキングブレーキレバー横へのセカンドバッグ置き場など、各所にさまざまな収納スペースを配置。
- ・セカンド左シートにはチャイルドシート固定用ベルトを設定。
- ・リヤシート右側部にレジャー等で役に立つDC12V電源のアクセサリースocketを標準装備。

2. 最新技術を結集したクラス世界トップレベルの高い安全性

(1) アクティブセーフティ

- ・制動時のタイヤのロックを防ぐABSをはじめ、タイヤの空気圧低下を早期発見し走行安定性や燃費の悪化予防に寄与するタイヤ空気圧警報システムを全車に標準装備。
- ・シートを高めに配置したほか、フロント三角窓や大型ドアミラーの採用により、優れた視認性を実現。
- ・後退時の後方視界をモニター表示するバックモニターをオプション設定（ワイドマルチAVステーションⅡ選択時）するとともに、バックドアウインドウ上の空気の流れをコントロールするリヤスポイラーをSおよびLパッケージ装着車に採用し、雪や水滴の付着を抑え後方の視認性に配慮。

(2) パッシブセーフティ

- ・衝撃吸収ボデーと高強度キャビンからなる衝突安全ボデーGOAの採用をはじめ、各ピラーに衝撃を吸収するリブを内蔵し、ルーフサイドレールもエネルギー吸収構造とすることで、将来の米国の頭部衝撃緩和基準（'98年9月より米国にて適用開始）レベルの性能を追求したソフトアッパーインテリアを採用。
- ・デュアルSRSエアバッグを全車に標準装備。
- ・前面衝突時に、シートベルトを瞬時に巻き込みたるみを取ることで乗員拘束性能を高めその後ベルトにかかる荷重が規定値以上に達した場合、その規定値を維持する構造により胸部への衝撃を緩和する、日本初のプリテンショナー&フォースリミッター付シートベルトを全車の運転席、助手席に標準装備。
- ・6席全席（2列シート車は4席全席）に3点式シートベルトとヘッドレストを標準装備。

3. 3列シート・6人乗りを可能にした「トール&コンパクト」の個性的造形

(1) ボデーサイズ

- ・最小回転半径4.8mの取り廻し性に優れたコンパクトなサイズ（全長4,135mm、全幅1,690mm）でありながら、全高1,620mmというユニークな寸法の中で実現した「トール&コンパクト」の個性的造形。

(2) スタイリング

- ・既存のMPVがもつボクシー空間イメージを一新する、短めのフロントノーズから勢い良く伸びる先進的なキャビンフォワードシルエットを採用。
- ・押し出し感のあるグリルを中心に、マルチリフレクター採用の都会的でクリーンな形状のヘッドランプとターンランプを配したフロントビュー。
- ・ラウンディッシュな造形のリヤエンドに、ワイドなバックドアウインドウと各ランプ形状を丸型基調にした個性的なリヤコンビネーションランプを配したジョイフルなリヤビュー。
- ・レジャーユースを一層際立たせるため、フォグランプを内蔵したフロントバンパーガーニッシュや大開口ムーンルーフをオプション設定するとともに、存在感のあるルーフレールをG、SおよびLパッケージ装着車に採用。

4. セダンに匹敵する爽快な走行性能と低燃費の実現

- (1)エンジン
- ・低中速域でのトルクを高めるなど専用設計を施した1.6ℓツインカムエンジン（4A-FE）を搭載し、実用域で扱いやすく滑らかな走りを実現。
 - ・燃焼改善、摩擦損失の低減など高効率化を追求したエンジンと、きめ細かく変速制御する電子制御式4速オートマチックトランスミッション（ECT）の組み合わせにより、1.6ℓクラストップレベルの低燃費（13.2km/ℓ〔10・15モード走行燃費〕）を実現。

〔エンジン主要諸元〕

排気量	最高出力	最大トルク	10・15モード走行燃費
1,587cc	110PS／5,800rpm	15.2kg・m／4,600rpm	13.2km／ℓ

- (2)シャシー、ボデー
- ・サスペンションはフロント、リヤともカローラ系で定評の4輪独立懸架のマクファーソンストラット式をファインチューニングするとともに、ブレーキにはフロントに耐フェード性に優れた大容量のベンチレーテッドディスクを採用することで快適な乗り心地と優れた操縦性・走行安定性を確保。
また、アップダウンの多い道での頻繁なシフトチェンジを抑える登降坂変速制御機構の採用により、滑らかな走りを追求。
 - ・高剛性かつ軽量な高張力鋼板の大幅採用や、各ピラーおよび結合部の高剛性化を図る一方、各部の遮音・制振構造を工夫することで「私の部屋」に相応しい静粛性を実現。

【販売概要】

- | | |
|-----------|-----------------|
| 1. 販売店 | 全国のトヨタカローラ店 |
| 2. 月販目標台数 | 5,000台 |
| 3. 店頭発表会 | 1月25日（土）、26日（日） |

【メーカー希望小売価格】（消費税は含まず、単位：千円）

	定員	エ ン ジ ン	トランスミッション	価 格*
2列シート車	4	4 A - F E (1 . 6 ℓ)	E C T	1,568
Gパッケージ				1,628
Sパッケージ				1,653
Lパッケージ				1,688
3列シート車	6			1,648
Gパッケージ				1,708
Sパッケージ				1,733
Lパッケージ				1,768

*北海道、沖縄のみ価格が異なる。

ECT：電子制御式4速オートマチック

【トヨタ インターネット ホームページ】

<http://www.toyota.co.jp/spacio>

以 上